

いただいたご意見と市の考え方

6月14日（水曜日）から7月14日（金曜日）まで実施したパブリック・コメント手続きに基づく意見募集で6件のご意見をいただきました。いただいたご意見の要旨と市の考え方は以下のとおりです。

No.	意見の要旨	市の回答
1	本庁舎の建て替えについては、適正配置計画の対象外か。対象外であれば建て替えの是非について市民の意見を募るべきではないか。	本庁舎は本計画の対象です。これまでも数年間にわたり地区懇談会や市民委員会などでもご意見をいただいております。
1-①	将来行政のデジタル化で来庁者が1割程度になると言われており、職員も含め大幅な削減が見込まれる。本計画の趣旨から本庁舎建て替えは過大投資過ぎる	将来的にデジタル化が進んで来庁者が減ったとしても実際に従事する職員が短期間に大幅に減少しないと考えています。
1-②	将来新本庁舎はフロア単位で譲渡や貸付を検討するとのことであるが、余剰になることが分かっている建設するのは本計画の趣旨に反するのではないか。現本庁舎の跡地利用で譲渡も模索するのであれば補強して引き続き使うべき。	現在の本庁舎は防災拠点として耐震性能が不足しているうえ、設備が老朽化しているため、市庁舎として継続して使用していくことは困難です。
1-③	受付窓口の一本化をすれば市民が庁舎間を移動する必要もなくなり、新本庁舎と駅北庁舎を結ぶ連絡通路は不要になるのではないか	具体的なスペースについては、今後検討していきます。
2-①	消防や病院などを除き殆どの施設面積が圧縮されている中で庁舎が5%圧縮はおかしくないか。平成27年度に駅北庁舎移管済の面積分を除いた残りの面積で計算するのが本来ではないか。	第1次計画を策定した平成30年度を基準としているため本庁舎と駅北庁舎の合計面積から計算しています。
2-②	平成27年度までは現本庁舎に収まっていたのでそのまま駅北庁舎に移動すれば済むのではないか。	現在の駅北庁舎は建設の際に笠原庁舎や保健センターの部署も統合しており現本庁舎の部署のみではありません。

3	自分たちの職場だけ特別扱いしては何の意味もない。こんな無節操な計画は廃止したほうが良いのではないか。	本計画で庁舎は、行政サービス及び災害対応の拠点であるため、必要性の高い施設であると考えています。
4	これまでの市のやり方は、市にとって都合の悪いことは隠して強引に進めていくという手法を貫いてきました。その結果具体的な話になったところで問題が噴出し「各論反対」につながっている。本当に「市民が主役」と思っているなら実際の行動で示してほしい。議会の監視機能が期待できないため、重要な案件であればあるほど市民には全てを公開し、多くの市民が納得した上で市政を進めてほしい。	これまでも地元説明会やパブリック・コメント手続きによる意見募集などご意見をいただきながら進めてきました。実際に地元合意まで相当な時間を要する場合がありますが今後も丁寧に説明していきます。
5	延床面積は現在の事務処理を前提とするのではなく、今の時代に沿うように効率化を図ったうえで試算するべき。 通知文書も希望者には紙ではなく電子媒体やメールなどでの通知に変えるなど全面的に見直すことにより人員や経費が削減され、面積圧縮につながるのではないか。	今後策定する基本構想の中で延床面積についても議論していきます。
6	まず役所内の贅肉を落としてスリムにし本当に必要か判断したうえで適正配置検討してほしい。	市では、これまでも行政改革を進めており、業務のスリム化に引き続き取り組んでいきます。